

令和元年度 第3回 二宮町子ども・子育て会議 会議録

日 時 令和元年12月4日(水)10時00分～11時50分
場 所 二宮町町民センター3Bクラブ室
出席者 飯塚委員(会長)、中西委員(副会長)、吉野委員、石井委員、林委員、
加藤委員、相馬委員
(欠席/里見委員、水島委員、小口委員、山中委員)
事務局 松本健康福祉部長、神保子育て・健康課長、田邊子育て・健康課課長代理、
田嶋子育て・健康課子育て支援班長
傍聴者 0名

1. 開会

事務局：令和元年度第3回二宮町子ども・子育て会議を開催する。本日は第2期二宮町子ども・子育て支援事業計画の素案について、皆様よりご意見いただければと思う。

会議の公開・傍聴について報告

二宮町附属機関等が開催する会議の公開に関する要綱により本日の会議は公開とする。
(異議なし、傍聴希望なし)

2. あいさつ

会 長：いよいよ第3回目を迎えた子ども・子育て会議です。事務局も多くの課に話をしながら進めてくださり、今日、説明を受ける段階になった。短い中で町民の意見を反映できるようにという大義のもとにこの会議は開催されている。どうか忌憚のないご意見ご提案をいただければと思っている。本日もよろしくお願ひしたい。

事務局より配付資料の確認

- ・次第
- ・名簿
- ・(未定稿)第2期二宮町子ども・子育て支援事業計画書素案
- ・支援事業計画の表紙案
- ・資料1：差し替え部分の資料
- ・資料2：意見募集の案内
- ・資料3：中里キッズクラブ移転について

3. 議題

(1) 第2期二宮町子ども・子育て支援事業計画素案について

会 長：本日、主に前回の流れから基本理念に基づくキャッチフレーズの部分と、基本目標に対する委員からの意見をいただきたい。

資料1「未定稿・第2期二宮町子ども・子育て支援事業計画」

第1章・第2章について事務局より説明

会 長：今の第1章・第2章の説明に対してご質問ご意見等はあるか。

委 員：結果から見る課題と傾向に書いてあることは、その通りだと思う。横の繋がりが無いというところは大きいかなと。二宮町に越してきて3年になるが、最近しみじみ感じる。地元の人には知っているけれども新しい人は知らないというようなことが結構多く、私も昔から二宮に住んでいるという方と仲良くなっているいろいろ教えていただき、最近、“ここの公園はこんなにいいところで子どももこんなにいるのだ”、というような情報をよく入手するようになった。おそらく大事だと思うのは横の繋がりで、1番最初の窓口になり得るのが新生児訪問での情報提供かと思う。こういう団体が二宮にはあって、こういう所に行くとこういう情報をもらえたりしますよということを、私は知り合った地元のママさんからいただいた経験により、そのように感じた。

会 長：今のことに関して、事務局から何かあるか。

事務局：コミュニティ保育については町でも広報なり周知はさせていただいている。会長と連絡を取り、変わった部分等については周知させていただいているので、そういった部分を広く周知できるよう広報して、転入された方や出生された方にこういった団体があると教えることによって、まかなえるかと思うので、引き続きやっていきたい。

事務局：今の話のように周知の仕方だと思うが、お子さんが生まれたり、赤ちゃん訪問に行って話をさせてもらっている中で、子どもの事業は、保健センターの他いろいろな所でもやっていたりするので、情報の一元化というか、いろいろなものを渡して説明するような形になっている。現状、子育ての健康カレンダーというのがあるが、来年度には、子育て情報を集めた子育てハンドブックの作成を考えている。それをお渡しして見ていただければ、そこでいろいろな子育ての情報、妊娠から学校に上がる位までの情報を集め、あまり詳細は書けないが、コミュニティ保育のこのような団体があるといったことも一冊にまとめて皆様にお配りできたらと思っている。そのようなことも来年度の配布に向けて考えている。

委 員：素晴らしいと思う。大磯町や平塚市などでも出している。

委員：本町における子育て環境や支援への満足度が高い理由の1つに、「保育園・幼稚園などに入りやすい」とあるが、それに対して、低い理由に「保育サービスが充実していない」が挙げられている。具体的にはどのようなことが充実していないと考えられるか。

事務局：この結果は、保育園・幼稚園などの施設に入りやすいことに対して、それ以外保育サービスが充実していないという意見だと考える。保育サービスは具体的には、子育てサロンや、妊婦健康診査や乳児家庭全戸訪問等の事業である。保育所や幼稚園には入りやすいが、それ以外のサービスの利用の仕方が分からないとか、どこに相談していいかわからないという理由で満足度が得られていないのではないかとアンケート結果から読み取った。

会長：保育園・幼稚園といった所属がある方たちに対しては入りやすいという状況がありながらも、所属がない方たちからすると、情報がないからか何なのか、保育サービス等が充実していないように感じられているという受け止め方だろうか。

委員：そういう体験があれば読み取れるが、経験がなければ「なんだろう」と思う方もやはりいらっしゃると思う。

事務局：上に保育園・幼稚園が入りやすいという文言があって、下に保育サービスが充実していないというのはちょっと矛盾しているところがあるかと思う。

会長：もう少しプラスした説明か何かを入れていただければと思う。

事務局：丸をつけてもらう選択項目になっているので、こちらのグラフの中では補足することができないかもしれないが、33ページでうまく説明ができれば良いかと思う。事務局にらせていただいて手直しをしたいと思います。

会長：私が1つ気になったことは、33ページの真ん中、上から四つ目の「・」だが、「子どもが病気やケガで」という文章で、ここだけ周知活動を「推進する」と書いてあり、他のところは「推進する必要がある」という表現だが、統一しなくて良いのか。それも事務局で検討いただけるか。

事務局：ここだけ表現の仕方が異なっているので統一させていただく。

会長：他に、第1章、第2章の中で何かあるか。
(特になし)

第3章について事務局より説明

当日配付 基本理念（キャッチコピー）案について事務局より説明

事務局：町で提案した3つの案にプラスして、会長から提案いただいた基本理念案を配らせていただく。その中で本日基本理念をお決めいただければと思うのでよろしくお願ひしたい。

会長：5年間という期間なので、前回、皆さんから挙げた意見の中でもキャッチーな

フレーズがあると心に残るかなという意見をいただいていた。打ち合わせで伺ったら、皆様から案が挙がってきていないということで、事務局でこれまでの皆さんのご意見を元に何かヒントになればと思い作ってみたものだ。お休みされている委員からはどれが良いというような意見はあったか。

事務局：特にいただいている。

委員：「はぐハグ二宮」がとても心に刺さるというか、覚えやすいし、可愛い。ちょうど去年の子ども向けのアニメ、プリキュアが「HUGっと！」というキャッチだったので、見ていた世代には嬉しいようなところもあって、是非「はぐハグ二宮」を採用していただけたらと、個人的には思う。今、いただいた小さい紙の4案の中で、私は1番目と3番目がとても好きなので混ぜてうまく「みんなつながる豊かな自然とはぐくみの町はぐハグ二宮」と繋げてもらったら、とても可愛いのではないかなと思った。

会長：他にいかがか。あるいは、前からの意見であまり変えないほうが良いのではないかなというのも出ていたかと思うが。

委員：新しいものの方がキャッチーで、だいぶ印象が変わる。

会長：学校へ通うとPTAや先生方とか、たくさん関わりが出てくるが、あまり第三者の関わりがなく一番不安な世代は未就学の世代かと思うので、その世代の方の目が行きやすいフレーズではあるかもしれない。ただ逆に、二宮町の良いところは、全世代、特に高齢者が多い町の中では、とても子どもたちに温かい目を向けてくださっているところも盛り込めると二宮町らしいと思う。

委員：私は基本的な一番上の従来のものかと思っていたのだが、若い方のご意見の方が良いのではないか。

会長：他はいかがか。先ほどプリキュアのお話も出て、他の委員にも一言いただいて、若い世代には「はぐハグ二宮」あたり、入れていただけたらと思うが、このキーワードはぜひ入れて欲しいというのはどれか。前は自然だとか繋がりというご意見が出ていたと思う。

委員：「つながる」と「自然」はとても良いキーワードだと思う。前の「みんながつながり」というフレーズでも素晴らしいと思うが「つながり」だと、既にあるものという印象であったが「つながる」だと、これからどんどん繋がっていくのだという広がりを持たせるように聞こえて、「つながる」「自然」に個人的にはとても良い印象を受けた。もちろん「はぐハグ」も是非入れていただきたいと思う。「HUGっと！プリキュア」には、絶対に一人にならない、みんなで育てるのだという子育てのテーマがあったので、少なくとも私の周りのママ世代から大変な人気を獲得しており、今でも好きという方はとても多い。私も大変元気をもらった。

副会長：「つながる」と「自然」をうまく融合した感じが良い。1点だけ、ハグのカッコ書きで英語を入れるのであれば全部小文字「(h u g)」でも大丈夫か。

会 長：良いと思う。

委 員：「自然の中 みんながつながるまち はぐハグ二宮」ちょっと長いのではないかな。自然もすごく大事だが、インパクト的に、長いのはどうかと思った。「はぐハグ二宮」は気に入った。「にのはぐ」ともリンクしていて良い。

委 員：個人的にはこの小さい紙の3番がいいと思う。「繋がる」を平仮名にしてもらって、「はぐハグ二宮」を入れていただけたらと思う。「はぐハグ二宮」は「にのはぐ」ともリンクするのですごく浸透しやすいと思う。

事務局：最後に二宮が入っているものは、漢字が良いか平仮名が良いか。

委 員：「にのみや」は平仮名だととても柔らかい雰囲気になって素敵だが、文字数的に大丈夫なのか。問題なければ平仮名の方が柔らかくて良いと思う。

事務局：文字数は調整するので問題ない。他の計画では平仮名だったりするので統一感を持たせるのも良いと思う。

委 員：「にのはぐ」の仮名使いはどうなっているのか。

事務局：全部平仮名だ。差し替え資料の52ページに「にのはぐ」とはこういう想いでつけられたということが載っている。

会 長：元々の「みんながつながり 自然とふれあいながら 子育てができるまち」と、1番目、3番目をミックスしていただき、事務局でまとめただければと思う。ここにいらっしゃらない委員がいるので、最終で2案に絞り、これなら良いというご意見をいただいた上で、各委員が投票をしたらいいのではないかなと思うがいかがか。

事務局：今、皆さんの話では、何となく3番目の線で、最後「はぐハグにのみや」と入るのが良いという雰囲気が見られたのだが、第一候補のような形で仮決定させていただければと思う。候補として1点に絞れるのであれば絞っていただいた方が良いかと思う。

会 長：今の話の中で、みんなが「つながる」は平仮名で。では豊かな自然、「豊かな」を入れるか入れないか。

「みんながつながる 豊かな自然のまち はぐハグにのみや」。

委 員：豊かな自然とはぐくみのまち、文法的には二重になるが、これで良いのではないかなと思う。「はぐハグ」はあくまでもキャッチフレーズだと思う。基本的に強調したいがゆえに、文法的には間違っているけれどわざともう一度入れてみるというようなのはいかがか。

副会長：はぐくみのまちなのだというところが一番伝えたいところ。

委 員：私も、「はぐくみのまち」と入れた方が良いと思う。最初、「はぐハグにのみや」だけを見ても、何の「はぐ」かと思ってしまったので、あった方が良いと思う。

会 長：「豊かな」はどうするか。

委 員：あって良いと思う。イノシシが出ると聞いて驚いた。

委員：長すぎたりしないか。

事務局：長すぎることはないと思う。特に後半が「～」になっているので、それらが全部で一連の文章だと長い、「～」がインパクトがあり変わっているのでそんなに気にならない。単なる自然というより「豊か」という言葉は良いのではないかと思う。

事務局：もしこれを変更するようであれば、また皆さんにメール等でお知らせしたいと思う。

会長：では、一旦平仮名で「みんながつながる 豊かな自然とはぐくみのまち～はぐ(育)ハグ(hug)にのみや～」としておいていただき、出来上がりを見たときによくないと思うところがあれば、最終版で変えていただくということよろしいか。

委員：はい。

会長：では、暫定で今のような形で。ではそれ以外に関して、41 ページまでのところで何かあるか。

(特になし)

なければ引き続き事務局から説明をお願いします。

第4章について事務局より説明

会長：現在の5年計画プラスアルファ変更部分と整理についてご説明いただいた。ご質問、ご意見はあるか。

委員：51 ページで、「平成31年4月より民間学童が1か所開所し全4か所となった」という記述があるが、以下の文面で「3か所」という言葉が繰り返して出てくることについて。この「3か所」を削るか「4か所」にするのか。削った方が良いのではないか。民間も放課後子ども教室だとか全部一体で参加しているので民間だから参加しないということではないので検討して欲しい。

事務局：あえて3か所とうたうことはなくて、学童保育全般の話なのでおっしゃる通り文面の中の「3か所」は削除する。

会長：学校以外4か所のところで将来的に放課後子ども教室を一体化していく可能性もあるのか。

事務局：放課後子ども教室は学校でというのが基本になると思う。

どちらかというと、民間学童の子ども、学童保育の時間だけれど放課後子ども教室をやっているならばそちらに遊びに行くとか、考え方としてはそういう感覚だろう。ただ、今やっている民間学童は、東大果樹園跡地の傍なので、これは勝手な発想だが、例えば放課後子ども教室を東大跡地でやってみようなどという話に発展すればそこでということもあるのかもしれない。今、そこまでは全く見えていない状況なので、あえて3か所ということに触れずに、全部の学童がということでの

きたい。

会 長：おそらく、それぞれコミュニティ・スクールになって、それぞれの学校、教育委員会でもいろいろと話題に出て、意見がまとめきれていないところでもあるので、箇所数を入れるほうが困惑するのかもしれない。学校単位でこれからどうなっていくかとか、地域との関係とか微妙なところだ。

事務局：放課後に関しては今後、生涯学習課とうまく融合しながらやっていく必要がある。

会 長：箇所数は外すということで。それ以外に何かあるか。また後で気づくことがあれば最後にご意見を伺えると思うので次に進みたい。

第5章・第6章について事務局より説明

表紙案について事務局より説明

会 長：初めに71ページから101ページまでについて何かご質問、ご意見等あるか。

(なし)

私から、(2)、77ページ、上から6行目で、認定こども園の説明があるが、カッコ書きで「現在に本町にはありません」というところの最初の「に」がいない。

事務局：ここに数値がいろいろ載っているが、これは今までの実績とかアンケートの結果から推定してこれだけの量の見込みがある形で出している。これがまだ詰め切れていないというか、暫定的に掲載しているため、内部でもう少し検討していく。特に量の見込みという一番上の数字のことはもう少し精査を考えているため、数字が変わってくる可能性があることをご承知おきいただきたい。過去の内容とかそういう数字は基本的に変わらないが、一番上の行だけ変更の可能性があることをご承知おきいただきたい。この先5年間のこの数によっていろいろなことが変わってくる重要な数字だ。

会 長：本当に慎重に慎重を重ねて、精査方法も何パターンかあるので作業としては大変だろう。そこはご理解いただき、もし変わってしまった場合はご報告いただければと思う。

副会長：資料編の名簿について、一色小学校のPTA会長さんは現在代わっているが、今年度の会長さんの名前はここには入らないのか。何年度会長としたら良いのではないか。

事務局：ちなみに前回の同じ委員名簿のときは、備考欄に任期が書いてあり、この方は何年度から何年度と但し書きがあったので同様に修正をする。

委 員：30年度と今年度で混ざっているものがあるが。

事務局：30年度の名簿と元年度の名簿を別々の名簿で用意した方がわかりやすいかもしれない。

会 長：この名簿は資料に入るのか。6章の体制の方かと思ったのだが。資料とは別扱い

になるのが定番かと思った。

事務局：これはどちらかというとな全体の資料ではなく、推進体制のための、子ども・子育て会議の設置根拠である条例であったり、委員名簿であったり、開催経過でこういうふうに設置したというところなので、95 ページから 97 ページについては、第 6 章に持って行って、資料編は本当に用語の解説などに限るよう修正する。

会 長：他に委員からご意見、ご質問等はあるか。

委 員：21 ページの調査目的のところに、「平成 32 年度」と書いてあるところがあるが、タイトルも令和 2 年度となっているので令和 2 年度に変えたらどうか。

事務局：これは削除するか令和 2 年度にする。

委 員：あと、33 ページ真ん中に、「幼児教育・保育の無償化については」のところだけ 2019 年 10 月と西暦で表記されているが、他は和暦で書かれている。統一しなくて良いのか。

事務局：行政の場合、基本は和暦で元号を使うので、令和元年に変更する。

会 長：今回というわけではないのだが、98 ページに子育て支援関連マークがあるが、ゆくゆくは二宮独自のものを作ったりしないのか。余談になるがちょっとした提案である。

事務局：表紙についてご意見はあるか。

委 員：タイトルの黒い文字のところ、もう少しフォントを大きくした方が見やすくなるかと思うし、下のキャッチフレーズと同じ大きさなので、パッと見たとき両方に目がいってしまいごちゃごちゃした印象になると感じた。

事務局：キャッチフレーズについても、先程話があったように変更していくので、それで全体のバランスを見て調整する。

委 員：これはプリンター印刷されたものだが、実物はもう少し色が鮮やかになるのか。ピンクなどは経年劣化しやすい色なので、5 年間これを置いておいたら真っ白になってしまうのではないかと思った。もう少し前回のような鮮やかな色ならば問題ない。このままだとぼんやりした印象を受けると思う。

事務局：もう少しはっきりした背景色の方が良いか。

委 員：これがプリンターの印刷のためにこういう色になっているならば、実物を印刷したときにもう 1 トーンはっきりした色になれば良い。

事務局：ピンク系の色でよろしいか。

委 員：ピンクは可愛いですが、ニーノとミーヤの輪郭と混ざってしまっているので、もう少し彩度の違う色を使うと良い。

事務局：背景をもう少し強めの色にすることで変わってくるかもしれない。次回の会議でも色のパターンをいくつか出してみる。

委 員：ニーノとミーヤはすごく可愛くて、菜の花も二宮町を象徴するもので良いと思う。

事務局：イラストがこれになるかはわからないが、とりあえずニーノとミーヤと菜の花は

良いということでしょうか。

委員：「東京ハイジ」は入れなければいけないが、もう少し小さくしないとその下の字とあまり変わらない。

事務局：おそらく東京ハイジの文字は画像についているものをそのまま使っているので、これを消して別に書き換える。

会長：白抜きについてはどうか。前は背景が黄色とピンクで白抜きが目立っていたが今回はどうか。その辺もご検討いただきたい。

事務局：これは色などを含め次回何パターンか用意して、最終的にどうするか決めたいと思う。

委員：いくつか見させていただければわかりやすいと思う。

会長：ではそのようにお願いします。全体を通して、他に皆様から質問、ご意見はあるか。よければこれまでの意見を取りまとめ、また事務局で引き続き調整をお願いします。

(2) その他

本日机上配付資料「意見公募手続（パブリックコメント手続）フロー図」について事務局より説明

事務局：パブリックコメント実施については1月号の広報に掲載する。期間は12月27日から、年明け1月25日までの30日間、意見募集を行う。最終日1月25日は土曜で役場閉庁日だが、インターネットでも意見募集を行っているため、その日に設定を考えている。取りまとめ後、皆様に見ていただき、第4回の会議で最終の計画書の形に持っていく流れになる。広報に載せる内容は裏面に載せている。真ん中、提出方法及び提出先の必須事項に「計画の名称」を広報では加えるので、追記していただければと思う。

会長：ご意見はあるか
(特になし)

机上配付資料「中里キッズクラブの一時移転について」事務局より説明

会長：何かご意見等あるか。
(特になし)

事務局：次回の会議は2月10日月曜日としたい。時間と場所は同じく、10時からこちらの会場で行う。

4. 閉会